

冬でも枯れない落葉樹の謎・・・ヤドリギ



落葉樹がその葉を全て落とした真冬に、何故か黄緑色の葉を茂らせている木を見つけた。でもよく見ると葉が茂っている部分が一塊になっていて、しかも偏っている。

これは何ぞや？

そう、これは半寄生性植物である『ヤドリギ』
『(寄生木、宿木)ビャクダン(ヤドリギ)科・ヤドリギ属』です。

ヤドリギは北海道から九州、朝鮮・中国に分布する寄生性の常緑樹。エノキ・ブナ・ミズナラ・クリなどの落葉高木に寄生する。

寄生性とはいえ、宿主を枯らすようなことはないそうです。

ちなみにこの川沿いに生えている落葉樹(エノキ、ソメイヨシノ)などにたくさん見られます。

冬でも黄緑色の葉を付ける落葉樹(エノキかな) 1/20撮影



発芽したヤドリギは根を幹の中に食い込ませ、樹木から水分と養分を吸収する



果肉は粘液を含んでおり、枝などにひっついて定着する。